



# 岩内町ゼロカーボンシティ宣言

～2050年二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して～

近年、地球温暖化が起因とされる気候変動の影響により、世界各地で記録的な猛暑や大雨、台風の強大化などの異状気象が多発し、今後も気温が上昇することによって、日常生活や産業活動、生態系などへの影響が危ぶまれており、温暖化対策は喫緊の課題となっております。

こうした状況を踏まえ、2015年パリ協定において、「世界の平均気温上昇を産業革命以前と比べ1.5℃以内に抑える」という世界共通の目標が掲げられ、我が国では、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル宣言」、北海道においても2020年3月に「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す」ことを表明し、ゼロカーボン北海道の実現にむけた取組が推進されております。

こうした中、本町においては、岩内町総合振興計画の基本理念である「健やかなまちづくり」に向け、環境にやさしい地域社会の形成と、地域が一体となって未来を育むと共に、地域脱炭素を実現するための指針となる、岩内町ゼロカーボンビジョンを策定いたしました。

本ビジョンは、「人と自然にやさしい安心して暮らせる持続可能なゼロカーボンシティの実現」を基本理念とし、温室効果ガスをゼロとするだけでなく、ゼロカーボンに向けた対策を有機的に連携・推進することにより、社会の好循環を促し、住んでいる人達が快適に暮らせて地球環境にもやさしい社会の実現を目指します。

また、4つの基本方針として、「自立・分散型社会の展開」「地域循環共生圏の基盤強化」「観光業・第一次産業等の地場産業の振興」「地域住民の安全・安心」を掲げ、これらの方針に基づきゼロカーボンの達成に向けた取組を推進してまいります。

未来に向けて、環境・経済・社会の調和を保ちながら成長を続ける持続可能なまちを次の世代へ引き継いでいくため、町民や地域、団体、事業者の皆さまとのパートナーシップにより、2050年までに二酸化炭素排出を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和6年6月10日

岩内町長 木村清彦